

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年10月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動 .....	II - 10



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年10月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m	10月4日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月24日～25日	2回/年 (4月、10月)

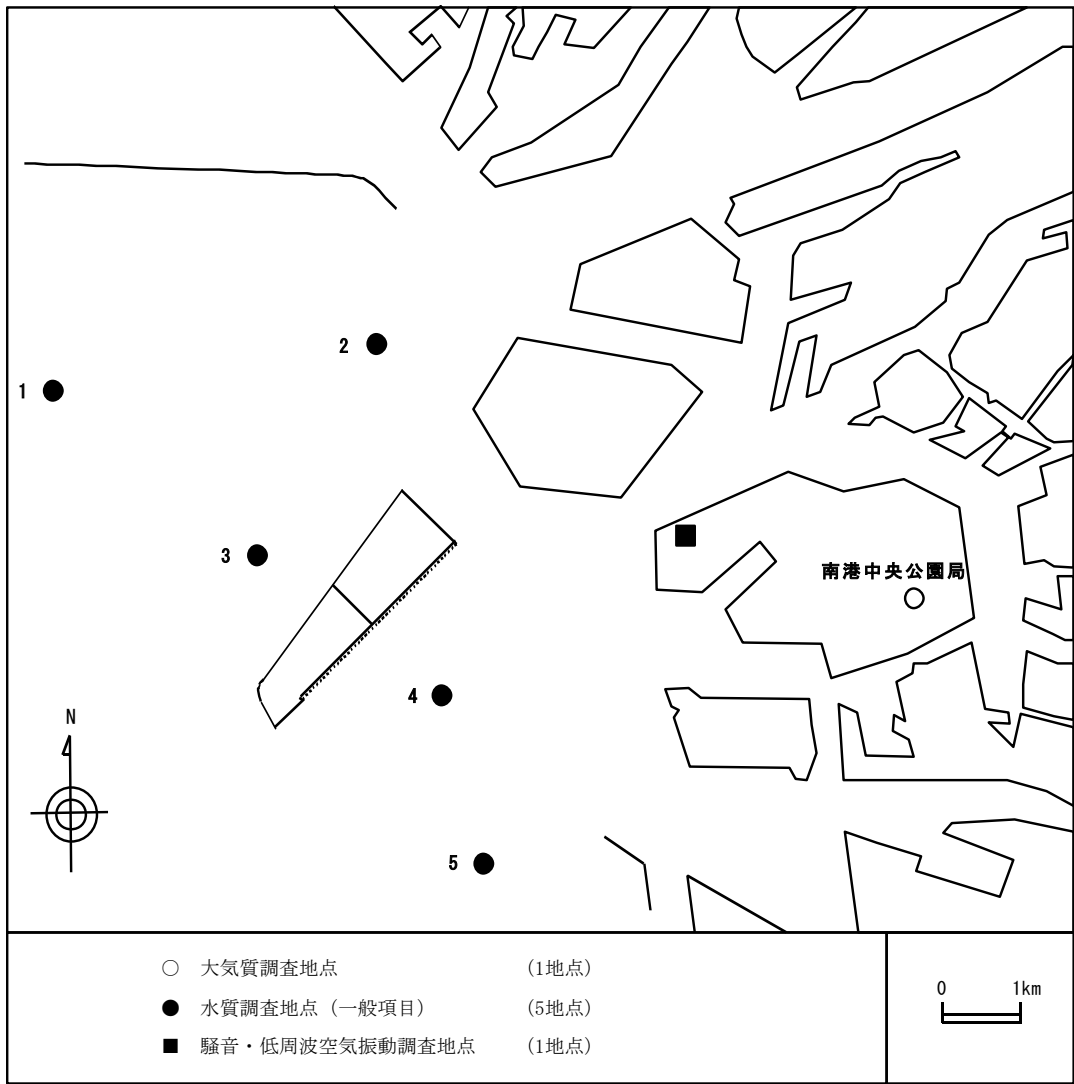
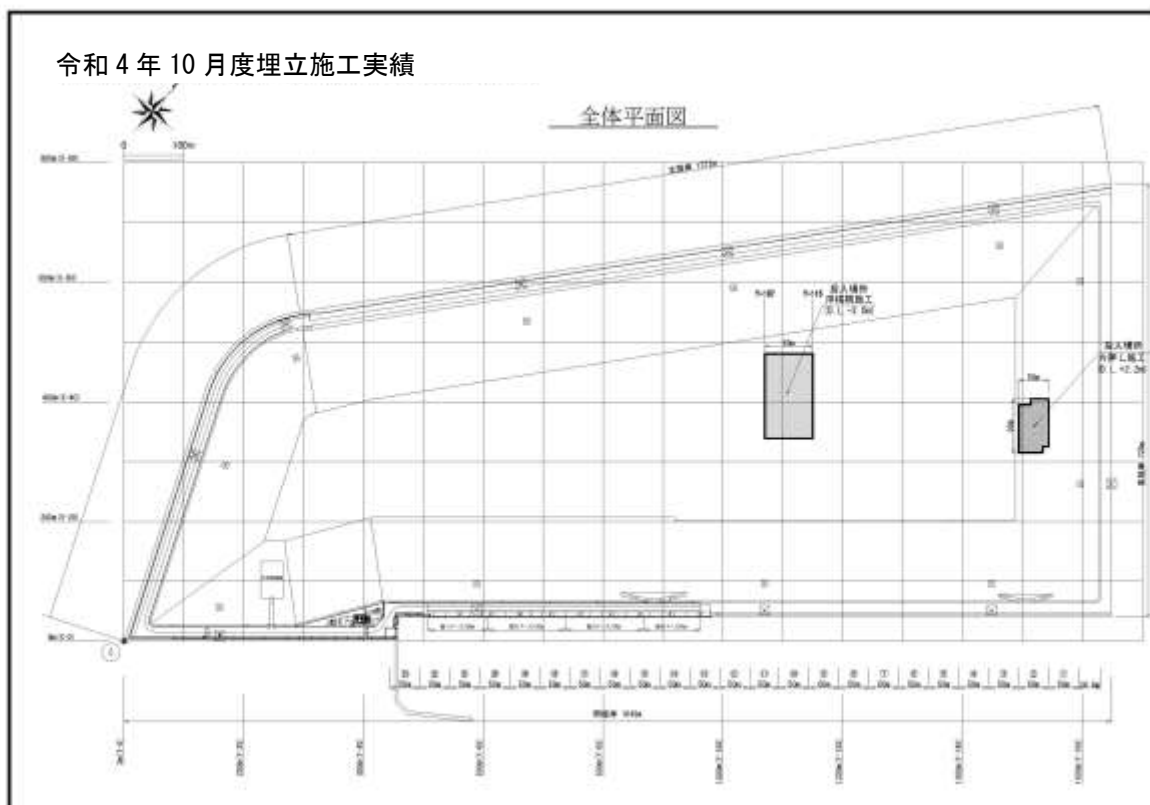


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和4年10月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
6,781,561	48.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は0.006ppm、1時間値の最高値は0.008ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.017ppm であった。また、日平均値の最高値は0.031ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.010mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.018mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.028mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3～8.4、下層は 7.9～8.0 であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1, 3, 5 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.2～5.5mg/L、下層で 1.4～2.2mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (3.7mg/L)、調査地点 2 (5.5mg/L)、調査地点 3 (3.5mg/L)、調査地点 4 (3.4mg/L) 及び調査地点 5 (3.2 mg/L) であった。調査地点 2 では事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の 1.6～4.9mg/L を超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって COD が環境基準を上回っていたため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 9.6～11mg/L、下層で 4.1～5.2mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では大部分の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 1(4.2mg/L)、調査地点 2(4.1mg/L)、調査地点 3 (4.8mg/L) 及び調査地点 5 (4.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.37～0.84mg/L、下層で 0.24～0.35mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2(0.84mg/L) 及び調査地点 4(0.75mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.057～0.15mg/L、下層で 0.049～0.068mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1(0.057mg/L)、調査地点 2(0.15mg/L)、調査地点 3 (0.059mg/L)、調査地点 4 (0.085mg/L) 及び調査地点 5 (0.069mg/L)、下層の調査地点 1 (0.056mg/L)、調査地点 2 (0.068mg/L) 及び調査地点 5 (0.066mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020mg/L～0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 6) 濁度

濁度は上層及び下層で 1～2 度(カリン)の範囲であった。

### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 4～9mg/L、下層で 1～2mg/L の範囲であった。

### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 17～63µg/L、下層で 0.5～2.0µg/L の範囲であった。

### (3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1～4 号]

#### 1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 48 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 45 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値を下回っていた。

#### 2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル ( $L_{50}$ ) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 70 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

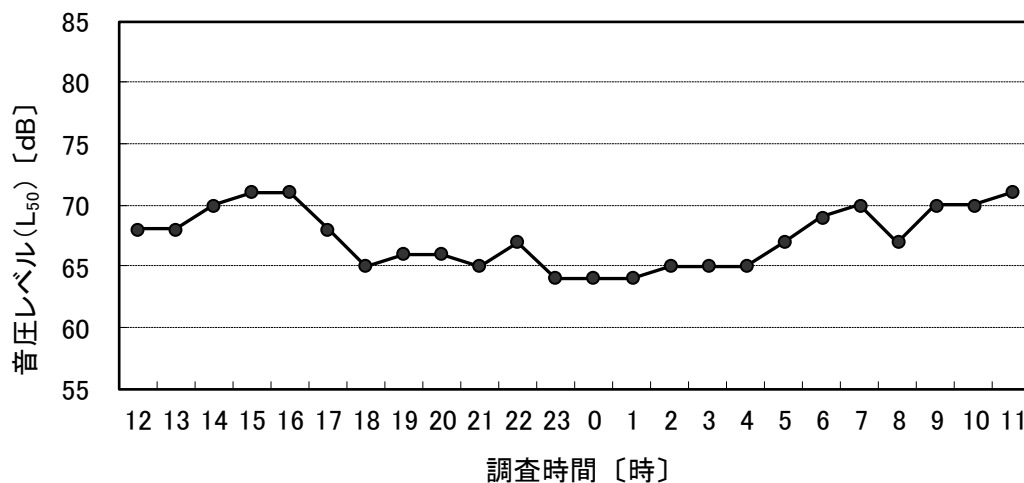


図-3 低周波空気振動の音圧レベル ( $L_{50}$ ) の時間推移

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [令和4年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和4年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.006	0.008
	2 (日)	0.005	0.006
	3 (月)	0.006	0.007
	4 (火)	0.006	0.008
	5 (水)	0.005	0.005
	6 (木)	0.005	0.007
	7 (金)	0.005	0.006
	8 (土)	0.005	0.006
	9 (日)	0.005	0.006
	10 (月)	0.005	0.006
別	11 (火)	0.006	0.007
	12 (水)	0.006	0.007
	13 (木)	0.005	0.007
	14 (金)	0.002	0.003
	15 (土)	0.002	0.003
	16 (日)	0.002	0.003
	17 (月)	0.002	0.002
	18 (火)	0.002	0.002
	19 (水)	0.002	0.004
	20 (木)	0.003	0.004
値	21 (金)	0.003	0.004
	22 (土)	0.003	0.004
	23 (日)	0.002	0.003
	24 (月)	0.002	0.002
	25 (火)	0.002	0.004
	26 (水)	0.002	0.003
	27 (木)	0.002	0.004
	28 (金)	0.002	0.004
	29 (土)	0.002	0.002
	30 (日)	0.002	0.002
	31 (月)	0.002	0.003
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006	
1時間値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和4年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.005	0.018
	2 (日)	0.003	0.004
	3 (月)	0.006	0.029
	4 (火)	0.005	0.020
	5 (水)	0.004	0.006
	6 (木)	0.005	0.007
	7 (金)	0.024	0.062
	8 (土)	0.003	0.006
	9 (日)	0.003	0.004
	10 (月)	0.004	0.012
別	11 (火)	0.004	0.009
	12 (水)	0.007	0.021
	13 (木)	0.006	0.030
	14 (金)	0.005	0.010
	15 (土)	0.006	0.022
	16 (日)	0.003	0.005
	17 (月)	0.008	0.038
	18 (火)	0.005	0.014
	19 (水)	0.006	0.020
	20 (木)	0.010	0.044
値	21 (金)	0.011	0.039
	22 (土)	0.005	0.022
	23 (日)	0.004	0.013
	24 (月)	0.004	0.006
	25 (火)	0.005	0.009
	26 (水)	0.009	0.044
	27 (木)	0.015	0.034
	28 (金)	0.014	0.056
	29 (土)	0.004	0.006
	30 (日)	0.004	0.007
	31 (月)	0.009	0.029
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.007	
日平均値の最高値 (ppm)		0.024	
1時間値の最高値 (ppm)		0.062	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和4年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.021	0.036
	2 (日)	0.012	0.019
	3 (月)	0.019	0.041
	4 (火)	0.016	0.031
	5 (水)	0.011	0.019
	6 (木)	0.018	0.024
	7 (金)	0.025	0.035
	8 (土)	0.010	0.025
	9 (日)	0.010	0.013
	10 (月)	0.011	0.029
別	11 (火)	0.012	0.025
	12 (水)	0.021	0.032
	13 (木)	0.019	0.035
	14 (金)	0.020	0.037
	15 (土)	0.019	0.033
	16 (日)	0.010	0.020
	17 (月)	0.021	0.033
	18 (火)	0.015	0.023
	19 (水)	0.014	0.023
	20 (木)	0.022	0.032
値	21 (金)	0.020	0.036
	22 (土)	0.017	0.030
	23 (日)	0.011	0.023
	24 (月)	0.011	0.024
	25 (火)	0.013	0.022
	26 (水)	0.020	0.029
	27 (木)	0.031	0.043
	28 (金)	0.023	0.031
	29 (土)	0.011	0.024
	30 (日)	0.011	0.022
	31 (月)	0.020	0.028
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.031	
1時間値の最高値 (ppm)		0.043	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和4年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		
日	1 (土)	0.026	79.9	0.054	
	2 (日)	0.015	79.3	0.022	
	3 (月)	0.025	77.6	0.070	
	4 (火)	0.021	75.1	0.051	
	5 (水)	0.015	74.6	0.024	
	別	6 (木)	0.022	79.5	0.031
		7 (金)	0.049	51.5	0.097
		8 (土)	0.013	74.4	0.031
		9 (日)	0.013	74.7	0.017
		10 (月)	0.015	73.0	0.041
11 (火)		0.016	75.3	0.034	
12 (水)		0.027	75.5	0.053	
13 (木)		0.025	74.8	0.065	
14 (金)		0.025	79.9	0.043	
15 (土)		0.025	75.9	0.055	
値	16 (日)	0.014	74.8	0.023	
	17 (月)	0.029	71.7	0.068	
	18 (火)	0.020	74.5	0.037	
	19 (水)	0.020	71.3	0.043	
	20 (木)	0.032	69.2	0.070	
	21 (金)	0.032	64.0	0.071	
	22 (土)	0.022	75.6	0.052	
	23 (日)	0.015	72.7	0.034	
	24 (月)	0.015	73.6	0.030	
	25 (火)	0.018	74.5	0.029	
	26 (水)	0.029	68.8	0.072	
	27 (木)	0.045	67.6	0.069	
	28 (金)	0.036	62.5	0.085	
	29 (土)	0.014	74.0	0.029	
	30 (日)	0.015	55.1	0.029	
	31 (月)	0.029	39.9	0.055	
有効測定日数 (日)		31			
測定時間 (時間)		739			
月平均値 (ppm)		0.023			
日平均値の最高値 (ppm)		0.049			
1時間値の最高値 (ppm)		0.097			
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		70.9			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) /$$

$$(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年10月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )	
日	1 (土)	0.018	0.025	
	2 (日)	0.015	0.021	
	3 (月)	0.016	0.022	
	4 (火)	0.016	0.028	
	5 (水)	0.006	0.017	
	別	6 (木)	0.006	0.008
		7 (金)	0.010	0.017
		8 (土)	0.006	0.009
		9 (日)	0.007	0.010
		10 (月)	0.007	0.010
11 (火)		0.007	0.011	
12 (水)		0.010	0.026	
13 (木)		0.010	0.015	
14 (金)		0.011	0.015	
15 (土)		0.011	0.017	
値	16 (日)	0.012	0.015	
	17 (月)	0.017	0.023	
	18 (火)	0.010	0.019	
	19 (水)	0.007	0.013	
	20 (木)	0.009	0.022	
	21 (金)	0.009	0.016	
	22 (土)	0.012	0.020	
	23 (日)	0.015	0.020	
	24 (月)	(0.005)	(0.010)	
	25 (火)	(0.007)	(0.008)	
	26 (水)	0.008	0.012	
	27 (木)	0.011	0.022	
	28 (金)	0.012	0.018	
	29 (土)	0.009	0.016	
	30 (日)	0.008	0.015	
	31 (月)	0.011	0.015	
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		718		
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.010		
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.018		
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.028		
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和4年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (土)	0.8	2.0	WSW	W
	2 (日)	0.7	1.9	W	W
	3 (月)	0.9	2.1	W	ESE
	4 (火)	1.3	2.5	WSW	WSW
	5 (水)	1.2	1.8	N	N
別	6 (木)	0.8	1.5	NE, ENE	NE
	7 (金)	0.5	1.8	E	ESE
	8 (土)	0.7	1.5	NNE	N
	9 (日)	0.9	1.8	NE	NE
	10 (月)	0.7	2.3	W	NW
	11 (火)	1.0	1.7	WNW	WNW
	12 (水)	0.7	1.8	ENE	NNE
	13 (木)	1.1	2.0	ENE	ENE
	14 (金)	0.7	1.3	ENE	ENE
	15 (土)	0.6	1.3	WSW	N
値	16 (日)	0.6	1.3	W	W
	17 (月)	0.7	1.5	ESE	ESE
	18 (火)	0.8	1.6	NW	NNW
	19 (水)	0.8	1.8	E	N
	20 (木)	0.7	1.8	E	E
	21 (金)	0.7	1.3	WSW, WNW	SW
	22 (土)	0.6	1.6	SE, ESE	WSW
	23 (日)	0.7	1.6	WSW	WSW
	24 (月)	0.9	1.8	N	N
	25 (火)	0.7	1.4	NNE	NW
	26 (水)	0.6	1.2	ESE, NNE	NNW
	27 (木)	0.4	1.0	E	E
	28 (金)	0.7	1.8	E	NNE
	29 (土)	0.8	1.5	N	NNW
	30 (日)	0.7	1.6	NE	NE
	31 (月)	0.9	1.8	ENE	ENE
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.8			
月最大風速 (m/s)		2.5			
月最多風向 (16方位)		NNE			

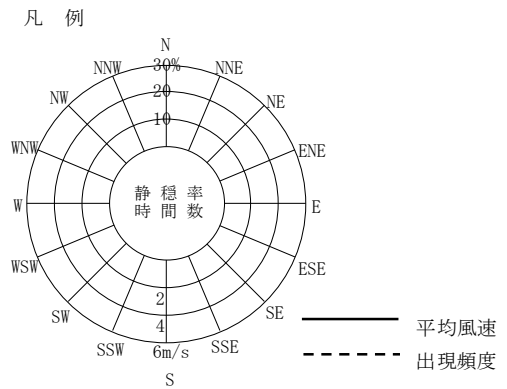
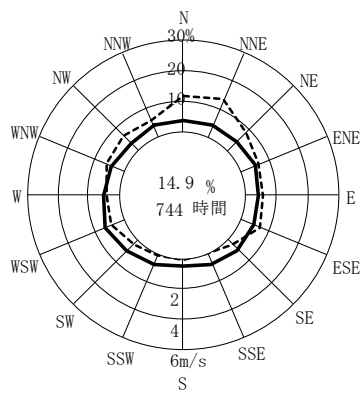
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年10月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	100	63	46	41	47	16	1	4	5	15	35	32	46	51	43	88	111	744
頻度 (%)	13.4	8.5	6.2	5.5	6.3	2.2	0.1	0.5	0.7	2.0	4.7	4.3	6.2	6.9	5.8	11.8	14.9	-
平均風速 (m/s)	0.8	0.8	1.0	0.8	0.9	0.9	0.7	0.5	0.7	1.0	1.3	1.0	0.9	0.7	0.8	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年10月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和4年10月分]

調査日：令和4年10月4日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
	1	2									
時刻			8:27	8:03	8:47	9:31	9:10		-		-
透明度	[m]		1.8	0.8	1.5	1.2	1.6	0.8	～	1.8	1.4
水温	[°C]		25.4	25.8	25.2	25.5	25.4	25.2	～	25.8	25.5
			25.4	25.5	25.4	25.4	25.4	25.4	25.4	～	25.5
塩分	[-]		28.6	27.7	30.2	27.6	29.8	27.6	～	30.2	28.8
			32.5	32.4	32.5	32.5	32.5	32.5	32.4	～	32.5
濁度	[度(カリン)]		1	2	1	1	1	1	～	2	1
			2	1	1	2	1	1	1	～	2
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		5	9	4	5	4	4	～	9	5
			1	2	1	2	2	2	1	～	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.4	8.3	8.4	8.3	8.4	8.3	～	8.4	-
			8.0	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	7.9	～	8.0
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		3.7	5.5	3.5	3.4	3.2	3.2	～	5.5	3.9
			1.8	1.8	1.4	1.7	2.2	2.2	1.4	～	2.2
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	9.9	10	9.6	11	11	9.6	～	11	10
	飽和度	[%]	142	144	139	158	159	139	～	159	148
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.37	0.84	0.38	0.75	0.48	0.37	～	0.84	0.56
			0.24	0.35	0.26	0.27	0.28	0.24	～	0.35	0.28
全磷 (T-P)	[mg/L]		0.057	0.15	0.059	0.085	0.069	0.057	～	0.15	0.084
			0.056	0.068	0.049	0.050	0.066	0.049	～	0.068	0.058
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		21	63	17	21	19	17	～	63	28
			0.5	2.0	0.9	0.8	1.2	0.5	～	2.0	1.1

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和4年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年10月24日午後0時～10月25日午後0時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L <sub>A5</sub>			L <sub>A50</sub>			L <sub>A95</sub>			L <sub>Aeq</sub>			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	50	45	58	45	40	51	43	38	48	48	42	52	鳥, 虫, 車両, 船舶, 周辺施設
夜間	47	46	50	44	43	45	42	41	43	45	44	46	鳥, 虫, 車両, 船舶, 周辺施設

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表[令和4年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年10月24日～25日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
12:00	昼間	C	60dB	45	40	38	42.1	鳥、車両、船舶
13:00				45	42	40	42.7	鳥、車両、船舶、周辺施設
14:00				48	44	41	45.9	鳥、車両、船舶、周辺施設
15:00				58	50	44	52.2	鳥、車両、船舶、周辺施設
16:00				55	51	48	51.8	鳥、車両、船舶、周辺施設
17:00				50	47	44	47.4	鳥、車両、船舶、周辺施設
18:00				48	44	42	45.0	虫、車両、船舶、周辺施設
19:00				47	44	42	44.9	虫、車両、船舶、周辺施設
20:00				48	44	42	45.0	虫、車両、船舶、周辺施設
21:00				47	44	43	45.0	虫、車両、船舶、周辺施設
22:00	夜間		50dB	48	45	43	45.7	虫、車両、船舶、周辺施設
23:00				50	43	41	45.3	虫、車両、船舶、周辺施設
00:00				46	44	42	43.9	虫、車両、船舶
01:00				47	44	42	44.9	虫、車両、船舶
02:00				47	44	42	44.1	虫、車両、船舶
03:00				47	44	42	44.4	虫、車両、船舶
04:00				46	44	41	43.8	虫、車両、船舶
05:00	48		44	42	45.0	鳥、虫、車両、船舶		
06:00	昼間		60dB	51	45	43	47.6	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
07:00				50	46	43	46.9	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設
08:00		49		45	43	46.8	鳥、虫、車両、船舶、周辺施設	
09:00		50		46	43	48.7	鳥、車両、船舶、周辺施設	
10:00		51		46	43	47.1	鳥、車両、船舶、周辺施設	
11:00		53		49	47	50.1	鳥、車両、船舶、周辺施設	
最小値				45	40	38	42	
最大値				58	51	48	52	
平均値				49	45	43	47	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。

注：2. 環境基準はL<sub>Aeq</sub>である。

低周波空気振動調査結果総括表[令和4年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年10月24日午後0時～10月25日午後0時

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L <sub>5</sub>			L <sub>50</sub>			L <sub>95</sub>			L <sub>max</sub>				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
72	69	74	70	68	71	68	66	70	75	70	77	0.1	1.4

注：1. 平均値は算術平均値である。

注：2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果総括表[令和4年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：令和4年10月24日～25日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速(m/s)	
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	最小	最大
12:00	69	68	67	70	0.2	0.6
13:00	70	68	66	73	0.3	0.4
14:00	72	70	69	75	0.1	0.3
15:00	74	71	69	77	0.2	1.4
16:00	73	71	70	76	0.1	0.3
17:00	69	68	66	74	0.1	0.4
18:00	67	65	64	71	0.2	0.5
19:00	67	66	64	69	0.3	0.5
20:00	67	66	64	69	0.4	0.5
21:00	67	65	64	68	0.3	0.5
22:00	69	67	65	71	0.3	0.5
23:00	66	64	62	67	0.1	0.3
0:00	66	64	63	69	0.3	0.6
1:00	66	64	62	70	0.4	0.6
2:00	66	65	64	69	0.4	0.5
3:00	66	65	64	68	0.2	0.6
4:00	66	65	64	70	0.3	0.4
5:00	68	67	66	69	0.1	0.4
6:00	71	69	68	74	0.2	0.3
7:00	72	70	69	76	0.2	0.5
8:00	69	67	66	70	0.3	0.7
9:00	72	70	69	77	0.4	0.5
10:00	72	70	69	75	0.2	0.6
11:00	73	71	70	75	0.5	0.9
最小値	66	64	62	67	0.1	0.3
最大値	74	71	70	77	0.5	1.4
平均値	69	67	66	72	0.3	0.5